



UN Photo/Amanda Voisard



UN Photo/MB



UN Photo/Manuel Elias

上智大学国連Weeks シンポジウム

『国連と多国間主義の将来』

トランプ大統領が掲げる米国第一主義や他国にみられる排他主義が台頭し、多国間主義の潮流に逆行し、国連の存在をも疑問視する動きがあります。今後の多国間主義の動向を俯瞰するとともに国連の意義について考え、議論します。

日時 6月5日(月)17:30～19:30 (開場17:00)

場所 四谷キャンパス2号館17階 国際会議場

対象 本学学生および教職員、高校生、一般の方

言語 日本語・英語(同時通訳あり)

内容

基調講演

『国連と多国間主義の将来』

David Malone 国連大学長



David Malone 学長



UN Photo/Andrea Brizzi

パネルディスカッション

田 仁揆 氏 元国連政務官

長谷川 祐弘 氏 日本国際平和構築協会理事長、元国連事務総長特別代表 東ティモール担当

東 大作 准教授 上智大学グローバル教育センター

弓削 昭子 教授 法政大学大学院政治学研究科、元UNDP事務次長補

モデレーター:植木 安弘 教授 上智大学総合グローバル学部



田 仁揆 氏



長谷川 祐弘 氏



東 大作 准教授



弓削 昭子 教授



植木 安弘 教授

主催



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

参加申込みはこちらからどうぞ (先着200名)

<https://eipo.jp/sophia/seminars/>

